

# 令和6年度 立川市立立川第六中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎自らすすんで学ぶ人 ○健康で心豊かな人 ○責任を果たす人
---------	-------------------------------------

生徒に育成を目指す資質・能力	教科や学年全体に共通する取組
○基礎的・基本的な知識や技能の習得・定着を通して、基礎学力の向上を図る。 ○主体的に学ぶ態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めあて、探究、振り返り」を徹底する。</li> <li>・家庭学習ノート及びデジタル教材を活用した、自主家庭学習を推進する。</li> <li>・「伝え合い、支え合い、学び合う」協働的活動を通して、能動的な学習の場を確保する。</li> </ul>

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組 (学習活動など)
国語	○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、社会に必要な国語について、その特質を正確に理解して適切に表現する言語能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明的文章を比較して読み、理解したことや考えたことについて検討したり、文章にまとめたりする言語活動を取り入れる。</li> <li>・文学的文章を読む際、他者との教え合いなどの協働的な学びを図り、自分の考えを言葉で表現できるようにする。</li> <li>・個別最適な学びを目指し、授業の中で ICT 機器を積極的に活用し、情報の分類・整理を生徒が適切に行えるようにする。</li> </ul>
社会	○社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力の基礎を育成する。 ○グローバル化する社会に必要な、予測力・対応力・共生力・発信力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組めるような課題を設定し、課題を追究する学習を行うようにする。</li> <li>・タブレット PC やプロジェクターなどを活用して、資料等の読み取りや意見の共有を行うことで、学び合い・深め合いを実現する。</li> <li>・学習のめあてや流れを明示し、学習に見通しをもてるようにする。</li> </ul>
数学	○数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則を理解する。 ○数学的な見方・考え方を働かせて事象を数学的に解釈し、数学的に処理する技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査・休み明けテストの結果等をもとに習熟度別クラス編成を行う。</li> <li>・学習の振り返りをする機会を定期的に設定し、学習内容をどのように活かすことができるかを記述できるようにする。</li> <li>・学習のめあてや流れを明示し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。</li> </ul>
理科	○自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究する力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な概念や性質・規則性の理解を図る観察・実験等を行い、基本的な知識・技能を身に付けられるようにする。</li> <li>・見通しをもって学習に取り組めるよう、本時のねらいと流れを提示する。</li> <li>・主体的に自然の事物・現象に親しむ生徒を育成するために、既習内容と生活体験とを結び付ける活動を増やし、さらには学んだことを日常生活に生かそうとする態度を高める。</li> </ul>

音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付けるようにする。</li> <li>○音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学ぶ態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の発声・音階練習を繰り返し行うことで基礎力をつけ、自信をもって演奏できるようにする。</li> <li>・毎時間の学習のめあてや学習の流れをしっかりと明示することで、見通しをもって学習に取り組み、曲に対する思いや考えを互いに伝え合いながら次回への学習につなげる。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美術の鑑賞や知識の定着を通して、作品制作のアイデア生成に役立て、完成度をあげるための技能を育成する。</li> <li>○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術を愛好する心情を豊かな情操を育てる。</li> <li>○美術を他の学習、生活、その後の仕事に生かせるよう資質・能力を育成する。</li> <li>○アイデアを工夫し、作品の完成に向かう資質・能力を育成する。また、作品管理の主体的性を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考作品を掲示し、課題作品（実技表現課題）に沿った内容の知識、鑑賞のプリント、ワークシート、タブレットPCの活用を通して取り組み、美術用語、美術様式の共通理解を図る。</li> <li>・表現課題は、評価基準を設定することで授業や作品完成に見通しをもって、取り組めるようにする。</li> <li>・自分で考えて計画を立てながら制作を進めるようにするため、今回の授業の反省、次回の授業の目標を書かせ、締切日、制作時間を意識できるようにする。</li> <li>・机間（巡回）指導を通して、個に応じた指導の充実を図る。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健体育の基礎的な知識や技能を習得することにより、生涯にわたって運動に親しむとともに健康を保ったり高めたりし、体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるようにする。</li> <li>○主体的に課題を発見し、解決に向けて考えとともに、考えたことを他者に伝える力を身に付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてを明確にし、見通しをもたせ、振り返り活動に取り組めるようにする。</li> <li>・学習カードを活用するとともに習得すべき学習のポイントと習熟度による評価を具体的に明示する。</li> <li>・まとめの時間を確保し、授業のめあてを達成できたかを振り返らせ、個人の変容に気付けるようにする。</li> <li>・実生活につながる話題等に触れ、学習内容と個人生活が結び付くように関心をもてるようにする。</li> </ul>
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活の営みや技術に係る見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1単位時間や單元ごとのめあてを明確にし、目標をもって主体的に学ぶ力を養う。</li> <li>・学習内容の定着を図るために、生活との関わりをもたせた学習課題を設定できるようにする。</li> <li>・基本となる道具や動作の習得を意識させ、技能向上を図る。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出文法を用いた文の形・意味・用法を理解し、様々な場面で活用することができるコミュニケーション能力の向上を図る。</li> <li>○日常的な話題や社会的な問題の概要や要点を捉え、既習事項を生かしながら、自分の意見を英語で表現する力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のめあてや流れを明確にすることで、生徒が毎回の授業に目標をもって取り組めるようにする。</li> <li>・英単語テストを定期的に行い、基礎的な学習の定着を図る。</li> <li>・ATLの活用やコミュニケーション活動の内容を工夫することで、既習事項を活用して英語で発表したり伝え合ったりする力の向上を図る。</li> </ul>